



**SVE 仙台ヴォーカルアンサンブル**  
**第22回コンサート**

日時：2017年4月2日（日）

14：00 開演（13：30 開場）

会場：エル・パーク仙台スタジオホール

主催：SVE 仙台ヴォーカルアンサンブル

後援：(公財) 仙台市市民文化事業団

 河北新報社

## プログラム

Missa Papae Marcelli  
(教皇マルチェルスのみサ曲)

G. Palestrina,

休 憩

Deutsche Messe D872  
(ドイツ ミサ曲)

F. Schubert

【リコーダー、リュート二重奏】  
King of Denmark's galliard  
(デンマーク王のガリアード)

J. Dowland

The Earl of Essex His Galliard  
(エセックス伯のガリアード)

【マドリガル】  
Waly Waly  
(まきばの朝)

English Folk Song

To Shorten Winter's Sadness  
(冬のかなしみのりこえて)

T. Weelkes

Innsbruck, Ich Muss Dich Lassen  
(インスブルック わかれのとき)

H. Isaac

Es ist ein 'ROS' Entsprungen  
(見よ バラは咲く)

M. Praetorius

Contrapunto Bestiale Alla Mente  
(森の音楽会)

A. Banchieri

## プログラムノート

作曲者は、1525年ごろ、当時はローマ教皇領であったローマ近郊の町、パレストリーナに生まれたため、パレストリーナ（1525?～1594）と呼ばれています。少なくとも100以上のミサ曲、250以上のモテットをはじめとする数多くの教会音楽を作曲し、中でも『教皇マルチェルスミサ曲』は代表作とされています。この曲は、順次進行を主体とした簡素・平穏・緻密な合唱様式でパレストリーナ様式と称され、S A A T B Bの六声部で書かれています。定旋律を入念に作り上げた六声の響きは、和音の流れが途切れることなく、常にどこかのパートが和音を形成しています。また、通常文の内容に沿ってパートの構成を変化させ、敬虔で純粋な音楽の中にも、重要な部分ではドラマティックな変化を持たせています。そして全曲を通して輝きが失せることはありません。

フランツ・シューベルト（1797～1828）は、「歌曲王」と讃えられ、「野ばら」「魔王」などの膨大な名曲があるが、優れた宗教曲も残している。『ドイツ・ミサ曲』は、ヨハン・フィリップ・ノイマン（1774～1849）が自由に書き下ろしたドイツ語のテキストに1827年に作曲された。どのような意図で作曲されたのかは定かではないが、この曲を教会の正式典礼文として用いようとは考えていなかったと思われる。和声音楽で四声体聖歌様式で書かれており、非常にシンプルであるが、静謐さと温かみを備えた傑作である。

ジョン・ダウランド（1563～1626）はイギリス・ルネサンス期のリュート奏者兼作曲家。『デンマーク王のガリアード』『エセックス伯のガリアード』は、ヴィオラ・ダ・ガンバ（あるいはリコーダー）五重奏とリュートによる器楽合奏曲として1604年に出版。今回は最上声部をリコーダーで、それ以下の声部をリュートで演奏。「ガリアード」は当時イギリスで流行った3拍子系の舞曲。「エセックス伯」は女王エリザベス一世の愛人口バート・デヴルーのこと。

『まきばの朝』は、「広い河の岸辺」として日本でもよく知られた曲。「The Water is Wide」別名「WALY WALY」は、16世紀頃から伝えられているスコットランド民謡。詩の内容は、試練にさらされる愛を描く。NHK朝ドラ「花子とアン」ではカナダ人女性教師の愛唱歌という設定で、又「マッサン」では、ヒロインエリーがこの曲を口ずさむ場面があった。トマス・ウイルクス（1576～1623）はイギリスの作曲家・オルガニスト。主な作品は、マドリガル、英国国教会で歌われる合唱曲など声楽曲が多い。『冬のかなしみのりこえて』は、日の短く、暗い冬を、近隣のコミュニティを通して仮装パーティなどで楽しく過ごす様子が歌われている。『インスブルック わかれの時』のインスブルックはオーストリア西部、アルプスの山に囲まれたチロル地方の中心。インスブルックという地名の由来は、街に流れる「イン川に架かる橋」。歌詞は、別れを告げた恋人への思いと、彼女が自分を忘れないで欲しいと願う再会への切実な思いが綴られている。作曲者ハインリッヒ・イザーク（1450～1517）は、ルネッサンス盛期のインスブルックの宮廷作曲家。『見よ、バラは咲く』はドイツのライン地方に伝わるキャロルで、もとは聖母賛歌。ドイツの作曲家・オルガニストであるミヒャエル・プレトリウス（1571～1621）が修正、編曲して自分の歌集に加えた。アドリアーノ・バンキエリ（1568～1634）は、ルネッサンス晩期からバロック初期にかけて活躍したイタリアの作曲家・音楽理論家、オルガン奏者、詩人。『森の音楽会』のもとのタイトルは「動物たちの即興的対位法」。軽快な舞曲風の作品で、カッコウ、フクロウ、猫、犬も楽しく集う。

## 教皇マルチェルスのみサ曲

### G. パレストリーナ

#### 1 キリエ

主よ、憐れんでください。  
キリストよ、憐れんでください。  
主よ、憐れんでください。

#### 2 グローリア

天のいと高きところでは  
神に栄光がありますように。  
そして地上では、  
平和が善意の人々にありますように。  
私たちはあなたを賛美します、  
あなたを賞賛します、  
あなたに祈りを捧げます、  
あなたに栄光がありますように。  
私たちはあなたに感謝を捧げます、  
あなたの大きな栄光のゆえに。  
神なる主よ、天の王よ、  
全能の父である神よ、  
独り子である主よ、イエス・キリストよ。  
神なる主よ、神の子羊よ、父の御子よ。  
世の罪を取り除かれるお方よ、  
私たちが憐れんでください。  
世の罪を取り除かれるお方よ、  
私たちの願いを受け入れてください。  
父の右に座すお方よ、  
私たちが憐れんでください。  
なぜならば、あなたのみが聖、  
あなたのみが主、  
あなたのみがいと高き方であるからです、  
イエス・キリストよ。  
あなたは精霊とともに、  
父なる神の栄光のうちにあられます。  
アーメン

#### 3 クレド

私は信じます、唯一である神を、  
全能の父を、天と地の創り主を、  
全ての目に見えるものと  
見えぬものの創り主を。  
そして（信じます）、唯一である主を、  
イエス・キリストを、神の独り子を、  
父からお生まれになり世々に先立った方を。  
神からの神、光からの光、  
まことの神からのまことの神、  
生まれたが創られたのでなく、  
父と本質を共有し、  
万物がそのゆえに創られた方を。  
この方は、私たち人間のために、  
また私たちの救いのために、  
天から下られました。  
そして肉体を受け、  
精霊によって処女マリアから。  
そして人と成られました。  
さらに私たちのために  
十字架につけられました、  
ポンテオ・ピラトのもので。  
苦しみを受け、埋葬されました。  
そして三日目によみがえられました、  
聖書にある通りに。  
そして天に上り、父の右に座されました。  
そして栄光に満ちてふたたび到来し、  
生者と死者を裁かれるでしょう。  
その統治は、終わることがないでしょう。  
そして（信じます）、精霊を、  
主にして生命を与える者を。  
それは父と子から発し、  
父と子と変わりなく揮せられ、  
栄光を共にします。

それは預言者たちによって語られたもの。  
そして（信じます）、  
一つの聖なる普遍的な、使徒伝来の教会を。  
唯一である洗礼への信仰を告白します、  
それは罪の許しを得させるもの。  
そして待ち望みます、死者の復活を。  
アーメン。

#### 4 サンクトゥス

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
万軍の神なる主は。  
天と地はその栄光に満ちています。  
いと高きところにホサナ。

#### 5 ペネディクトゥス

祝福されますように、  
主の名においていらっしゃる方が。  
いと高きところにホサナ。

#### 6 アニュスデイ

神の子羊よ、  
世の中の罪を取り除いてくださるお方よ。  
私たちが憐れんでください。  
私たちに平和を与えてください。

## ドイツみサ曲

### F. シューベルト

#### 1 入祭の歌

①どこへ私は行こうか、  
悲しみと悩みでつぶされそうなとき。  
だれに私の喜びを告げようか、  
私の心が喜びではずむとき。  
あなたのもとへ、あなたのところへ、  
おお、父よ、  
私は行く、喜びのときも苦しみするときも。  
あなたは喜びをもたらしてください。  
あなたはどんな苦しみをも癒してください。

②ああ、もしあなたがいなければ、  
天と地は私にとって何の意味があるのか。  
どこかともないところに、  
私自身がいることになるかもしれない。  
あなたは私の道を確かな目標へと  
導かれる。  
そして天と地を  
喜びの祖国として祝してください。

#### II 栄光の賛歌グロリア

①「天のいと高きところに神に栄光。」  
祝された天の大軍が歌う。  
「天のいと高きところに神に栄光。」  
地上で生まれた私たちが  
口ごもりながら歌う。  
私はただ驚き、驚き喜ぶだけ。  
全世界の父よ、でも私も声を合わせ。  
「天のいと高きところに神に栄光。」  
②「天のいと高きところに神に栄光。」  
空気は小声で海はとどろく。  
合唱は終わりなく大自然を祝い、  
感謝の歌でいつまでも高らかに歓喜する。  
「天のいと高きところに神に栄光。」

#### III 福音朗読と信仰宣言クレド

①創造物はまだ形がなかった、聖書によれば、  
そのとき主は言われた、光あれ、と。  
主が言われると、光があった。  
生命が生じ、動き、秩序が現れた。  
そして至るところ、あらゆるところで  
賛美と感謝が高らかに響く。  
②人間の心は闇であった。  
暗い迷いのため頑なだった。  
救い主が来られ、光が生まれた。  
そして夜が明けた。  
その聖なる光、主の教えは、

近くのものも遠くのものにも生命を与え、  
目覚めさせる。  
全ての人は心から感謝し、  
主なる神をたたえる。

#### IV 奉納の歌

- ①おお、主よ、  
私に存在と生命をお与えになりました、  
あなたの教えである天の光を。  
塵のような私が、  
あなたに何か与えることができるか。  
ただ感謝することしかできない。
- ②私は幸いだ。あなたの愛に対し、  
ただそれに応じる愛以外、  
あなたには何も求めない。  
この愛を、感謝に満ちた愛を、  
私の生涯の喜びとしなくてはならない。

#### V 感謝の賛歌サンクトゥス

- ①聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
主は聖なる方。  
聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
主のみ聖なる方。  
主ははじめもなく、主はいつもおられた。  
主は永遠であり、支配される。  
主はいつもどこにもおられる。
- ②聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
主は聖なる方。  
聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
主のみ聖なる方。  
主は全能であり、驚くべき方、愛そのもの、  
主の全てが。  
聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
主は聖なる方。

#### VI 聖変化後の歌

- ①あなたのやさしさといつくしみを思う。  
おお、私の救い主、  
それは私に向けられている。  
私は見る、最後の晚餐で  
あなたの大切な人々と共にいるあなたを。  
あなたはパンを裂き  
あなたは杯を差し出し  
あなたは言う。  
これは私の体、私の血。  
取りなさい。私の愛を思い浮かべなさい、  
あなた方が同じことを捧げて行うとき。
- ②私たちはここで  
あなたの言葉に従って捧げる。  
あなたの聖なる食卓に、  
私の救い主、あなたがいる。  
心の目であなたが見える。  
主よ、あなたは苦しみと死を負った、  
私たちに生命を与えるために。  
この天のパンで  
私たちをカブつけてください、  
生きているときも死に臨むときも。

#### VII 平和の賛歌アニウス・デイ

- ①私の救い主、主よ、師よ。  
あなたの口はめぐみに満ち、  
かつて救いの言葉を語られた。  
「平和があなたがたにあるように。」  
おおいけにえとなった子羊よ、  
人類の重い罪を除かれた。  
私たちにも  
あなたの平和を送ってください、  
あなたのめぐみといつくしみによって。
- ②主の平和の冠で、地上の苦しみは消えた。  
救いと励ましは吹いてくる、

嵐のような心と地上の喜びに。  
主によって  
聖なるものとなって花咲き乱れる。  
喜びにあふれ、清められて、  
祝福された心に。

#### VIII 閉祭の歌

主よ、あなたは  
私の願いを聞き入れてくださった。  
私の胸の中では至福感がうごめいている。  
世に出て生きていく私に  
今日の喜びが伴う。  
あなたは私の近くにいる。  
どこでもいつでも。  
全てのところがあなたの神殿。  
そこで信仰深くあなたに向かう心を  
聖とされる。  
祝福してください、主よ、  
私と私の近くの者達を。  
祝福してください、  
私たちの人生の歩みを。  
私たちの全ての行いと働きが、  
信心深い賛美の歌となるように。

#### まきばの朝

##### スコットランド民謡

まきばの朝歩けば 花咲き鳥鳴き  
麗しの乙女は静かに祈るよ  
流れの岸さまよい 君慕い歌う  
急ぎ来ませここへ 我が願い叶え

#### 冬の悲しみ乗り越えて

##### T. ウィールクス

冬の悲しみ乗り越えてゆこう  
フェララララ...

仮面を被り 仮装などして  
フェララララ...  
仮面の下の 美しい顔  
フェララララ...  
暗い空でも 恋をするのよ  
フェララララ...

#### インスブルック 別れのとき

##### H. イザーク

インスブルック 別れのとき  
遙かな国へ 旅立つとき  
まだ見知らぬ国へ 喜び捨てて  
別れの日は来ぬ  
悲しき別れ 心は重く  
我は一人 慰めもなく  
いとしき乙女 また会う日まで

#### 見よ バラは咲く

##### M. プレトリウス

見よ、バラは咲く  
美しバラ 冬の寒さにいじけもせず  
夜のとばり開き 見よ今 バラは開く  
神のみ恵み 地にあまねく  
香り豊かに バラは咲くよ  
愛の光 輝きわたり バラは咲くよ

#### 森の音楽会

##### A. バンキエリ

森の音楽会 みんな出て 歌おうよ  
森のもの みんなで 祭の夜だよ  
クックー クックー (カッコウ)  
キュー キュー (ふくろう)  
ニャオ ニャオ (猫)  
ワン ワン (犬)

## 演奏者プロフィール

### 飯塚由美（オルガン）

宮城学院女子大学学芸学部音楽科オルガン専攻卒業。同大学研究科修了。  
日本オルガニスト協会主催「第12回新人演奏会」出演（武蔵野市文化会館）。  
87年NHK-FM「オルガンのしらべ」出演。これまで、中新田バッハホールにてジョイントリサイタル、仙台北教会にてリサイタルを開催。92年東京文化会館に於いて「日本の作曲家」に出演（ピアノ連弾）。その他、宗教曲の通奏低音、合唱の伴奏等の活動を行う。2002年阿部玲子氏とピアノ・デュオリサイタル開催（太白区文化センター）。2003年「第一回ピアノ・デュオコンクール in Tokyo」に於いて、グランプリに次ぐ優秀賞を受賞。同年、イズミティーにて入賞記念コンサートを行う。その他カワイサロンコンサート、200回記念県庁ロビーコンサートにピアノ・デュオで出演。

現在、宮城学院女子大学附属音楽教室講師、バッハホール音楽院オルガン科講師、宮城学院女子大学及び尚絅学院大学礼拝オルガニスト。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会 各会員。

### SVE 仙台ヴォーカルアンサンブル

ソプラノ：梅津美智子 西山仁恵 平川敬子 松橋有子  
アルト：牛渡 純 佐久間千穂 渡邊美穂  
テノール：佐久間徹 鈴木 哲  
バス：大崎健二 佐々木隆行

### 賛助出演

ヴィオラ・ダ・ガンバ、リコーダー：小田浩一  
リュート、リコーダー：高橋雅和